

J. N. S. Doe, 2003
(Excerpt from Exhibit ~~3308-B~~
3028-B)

no. 1

陸軍省受領
密受第五九號

憲政庶務第五號

昭和六年七月二十五日

關東憲兵隊編制改正ニ関スル意見、件上申下

陸軍大臣 南 次郎 殿

憲兵司令官 峯 幸 松

憲兵司令官印

關東憲兵隊編制改正ニ関スル意見別冊
研究ノ通リ上申ス

次官 閣

軍事 代印

兵務 印 閣 第一號

八月八日 結

陸軍省
6.7.28
午前八時
官房住復

陸軍省
6.7.29
食94階
兵務課

三浦
陸軍省
6.7.28
128
軍事課

3376

J. N. S. Doc, 3203
(Excerpt from Exhibit 3305-B)

No. 2

昭和六年七月

秘

滿洲ニ於ケル憲兵兵力編制ニ関スル研究

憲兵司令部

滿洲ニ於ケル憲兵兵力編制ニ関スル研究

將來戰ニ於テ我帝國ハ戰爭能力ノ保持上又自給自足ノ立場ヨリ滿蒙ヲ徹底的ニ確保スヘキハ今茲ニ喋々説明ヲ要セサル所ナリ

而レテ此ノ場合帝國カ如何ニ滿蒙ヲ處理シ且如何ニ之カ統治ヲ行フヘキカハ既ニ各々其ノ責任機關ニ於テ研究セラレツ、アル所ニレテ之ニ伴ヒ占領地憲兵ノ研究ヲ要スルコト亦明ナリ

軍政ノ施行ニ関レ憲兵ノ活動ヲ要スルコトハ幾多戰役ノ證明スル所ニシテ殊ニ最近ニ於ケル戰爭ノ内面化ニ見ルモ其ノ要益々大ナルモノアリ、而レテ現時滿蒙ノ情勢ヲ見ルニ日支間ノ紛爭問題ハ日ニ月ニ惡化シ軍トシテ、警察權ノ運用並外國機關ニ對スル偵査、内査、必要等最近急激ニ増加シ今ヤ在滿憲兵ノ業務ハ非常ナル繁忙ヲ極ムルニ至レリ、此ノ狀ニ當リ靜ニ將來ニ於ケル我ヲ作戰ノ推移ヲ眺メ之ニ基礎ヲ置キテ憲兵ノ運用及編制並兵力等、

研究ヲ為スハ時節柄最モ緊要ナルモト信レ以下
若干所見ヲ述ヘテ清鑑ヲ仰カントス

意見要旨

將來ノ作戰ニ於テ滿蒙ノ某地域ニ對シ徹底的軍
事占領ヲ企圖スルモ、トセハ之カ治安維持ノ為一部
ノ占領地守備隊、外憲兵兵力最少限約五千
（其他支鮮人ヲ以テスル憲兵補助員若干）ヲ必要
トス。而シテ之カ補充ハ現在ノ我國憲兵總員（
在郷ヲ含ム）ヲ以テテハ到底充足不可能ナルヲ以テ
將來此ノ得員ヲ増加スル為メ現在ニ於ケル南東憲
兵隊ノ編制並在員ヲ改正増加シ更ニ臨時補充ノ特
例制度ヲ定メテ之カ充足ヲ期サルヘカラス

×

×

×

×

(二) 滿洲憲兵ノ總數ハ憲兵約五千、支（鮮）人ヲ以テスル
憲兵補助員約二萬ヲ必要トス
本人員算定ノ基礎ハ概テ南東軍司令部作成ノ滿
蒙ニ於ケル占領地統治ニ関スル研究ニ同意スルモノニテ
即チ滿洲ノ想定統治區域約四五〇〇方里人口約
二四五〇萬ニ對シ憲兵（補助員ヲ含ム）約二萬五千即
憲兵一人ニ對シ人口約二〇〇人面積一八方里ノ割合
トナリ